

●位置・地勢

白老とは、アイヌ語で「虻（あぶ）の多いところ」と言う意味の言葉「シラウオイ」からきたと言われていています。白老町は、北海道の南西部、胆振総合振興局管内のほぼ中央に位置し、南は太平洋に臨み、北には伊達市（大滝区）、東には苫小牧市、西には登別市に隣接しています。

東西 28.0 km、南北 26.4 km、面積は 425.64K㎡で、その 74.1%を森林が占め海、川、山、森と様々な自然にあふれたのどかな町です。



●気 候

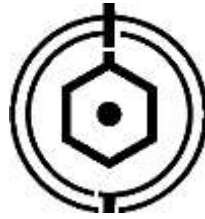
北海道の冬といえば豪雪地帯を想像しますが、白老町は穏やかな海洋性気候で一年を通じて平均気温 8.7℃と比較的温暖な気候に恵まれています。


夏は涼しく、冬季の積雪量も極めて少なく、年間最深積雪量は平成 27 年では 11 cm（昭和 60 年 3 月の 70 cmが過去の記録）、平年でも 20 cm前後と北海道で最も降雪の少ない地域です。

●人 口

令和 4 年 3 月末の住民基本台帳の人口は、15,876 人（男性 7,542 人、女性 8,334 人）、9,283 世帯の町です。年齢別人口は、14 歳以下の年少人口 1,041 人（6.6%）、15 歳から 64 歳までの生産人口 7,423 人（46.7%）、65 歳以上の高齢人口 7,412 人（46.7%）となっています。

●町 章



白老の「白」と片仮名の「オイ」とを組合せて図案化したもので、円心は町民の「団結」を象徴したものであり、「」の六角は農林業・水産業・工業・商業・観光その他の全産業が力強く伸び豊かな町民生活が具現することを希求し、二重の円形は町民の連帯による「平和」と「文化の発展」を表現したもので、上部中央の突出部は、本町が未来永久に繁栄することを意味しています。

●町の木・花



ナナカマド
（昭和 52 年制定）



エゾヤマハギ
（昭和 53 年制定）

●姉妹都市



CITY OF
QUESNEL

- ① カナダ国ブリティッシュコロンビア州
ケネル市

ケネル市はバンクーバー市の北約 670 kmにある小都市。同市に旧大昭和製紙の関連企業があったことが縁で両市町を結びつけるきっかけとなりました。昭和 56 年 7 月に国際姉妹都市盟約を結んで以来、青少年派遣交流事業などを通じて子どもたちを中心に相互理解を深め、国際感覚を育てています。



ケネル市青少年派遣交流事業



② 宮城県仙台市

歴史的に深いつながりを持つ仙台市とは、昭和56年5月に歴史姉妹都市の提携を結んで以来、姉妹都市交流、スポーツ交流、青少年や高齢者の相互間交流などを進めています。仙台市の有名な七夕飾りや歴史的文化財の展示など、共通の歴史をもとに、人づくりやまちづくりに生かしています。



仙台市歴史にふれる旅



仙台市との少年スポーツ交流

③ 青森県つがる市



白老町は平成3年に青森県森田村と姉妹都市の提携を結んで以来、りんご狩りツアーやイベントにおける物産交流、さらにはお互いの歴史・文化を学ぶ歴史にふれる旅など、活発な交流を行ってまいりました。森田村は平成17年2月に近隣4町村と合併し、「つがる市」として新たなスタートを切り、同年7月31日に「つがる市」と姉妹都市提携を行い、一層の友好関係を築いていくことになりました。



つがる市りんご狩りツアー



つがる市特産品即売会

●自然・景勝地

(1) 倶多楽湖（クッタラ）

2001年に水質の湖沼部門で日本一になったこともある日本有数の透明度を誇る湖です。

支笏洞爺国立公園特別区域内にあり、登別市側から行くことができます。



(3) 萩の里自然公園

白老町のちょうど真ん中に位置し、公園の中には、樽前山や太平洋を一望できる展望デッキや、通称「ケネルハウス」と呼ばれるセンターハウスがあるほか、自然散策やウォーキングを楽しむことができます。



(2) アヨロ海岸

アヨロ海岸付近は、アイヌ語でオソロコツ（神様の尻もちの跡）やカムイミントル（神々が遊ぶ庭）など多くのアイヌ語地名がある地域であり、縄文文化期からの遺跡も多数発見されているなど風景だけではなく文化的にも大変貴重な海岸です。



(4) ポロト湖、ポロトの森

白老地区にポロト湖とポロトの森があります。周辺では、夏はサイクリングやカヌー、冬はワカサギ釣りなど、季節によってさまざまな楽しみ方ができます。またポロトの森はウォーキングコースのほか、キャンプ場も人気です。



●特産品

白老町には、豊かな自然が生んだ様々な特産品があります。

(1) 白老牛

全国的にも高い評価を受けている白老牛は、平成19年に「白老牛」として商標登録され、地域ブランドとして全国展開を図り様々な商品開発を行っています。

平成20年7月に開催された北海道洞爺湖サミットや、平成27年10月に開催されたイタリア・ミラノ国際博覧会「北海道の日」でも振る舞われ、世界のVIPから高い評価をいただきました。上質な肉質は霜降りもバランスが良く、最高の黒毛和牛です。



(2) 虎杖浜たらこ

白老牛に並ぶ有名ブランドとしては「虎杖浜たらこ」もあります。大正時代から虎杖浜地域でつくられてきたたらこで、冬の前浜でとれたスケトウダラを新鮮なうちに加工し、きめ細やかな質感のある粒々は、確かな品質が認められ贈答品としても親しまれています。



※「虎杖浜たらこ」商標登録出願中
(令和5年3月)

この他にも、椎茸、卵、毛ガニ、マツカワ、ホッキなど、白老では様々な特産物が生産されています。

(3) 競走馬

白老は競走馬の生産地としても有名です。これまで様々なレースで入賞経験のある競走馬を数多く輩出しています。

また、各競馬場で数々のレースで活躍した名馬が、のんびりと余生をファームで送っています。



●文化施設

(1) ウポポイ (民族共生象徴空間)

ウポポイは、国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園、慰霊施設から構成されており、アイヌ文化の復興・発展、国内外へ広くアイヌ文化の理解促進を図るためのナショナルセンターです。



(公財) アイヌ民族文化財団 提供

(2) 仙台藩白老元陣屋資料館

白老町の歴史を学ぶ施設として、「仙台藩白老元陣屋資料館」があります。「仙台藩」が遺した、江戸時代当時の文化や風習がわかる様々な展示を行っています。資料館手前に広がる「陣屋跡」は国の史跡になっており、春になると桜が咲き誇り、花見を楽しむこともできます。



●温泉

白老の温泉

白老の社台から石山地区には、茶褐色のお湯が特徴の世界的にも珍しいモール温泉が多く湧出しています。

また、虎杖浜温泉は化粧水いらすとと言われるほど、肌にやさしい優れた泉質と豊富な湯量が特徴です。平成24年には「源泉かけ流し宣言」も行っています。日帰り温泉施設も充実しており、観光客はもちろん、地元の人達も多く利用しています。



虎杖浜温泉イメージ
キャラクター「ゆたら」